

2011年、3月11日に起きた東日本大地震によって、MLF西側部境界部、エクスパンジョンジョイント部、第2実験ホール、陽子ビームライン（M1, M2）において数々の装置、施設が大きな被害を受けましたが、修復作業が順調に進行し、2012年1月17日より、ビームコミッショニングを始めることができました。

予想以上に順調に、D1, D2エリアに低速（表面）ミュオン、ならびに $60\text{MeV}/c$ までに高速（崩壊）ミュオンを引き出すことに成功し、2月2日からユーザー実験を開始することができました。これも日本中間子科学会をはじめ、ミュオン関係の皆様のご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

また、長期シャットダウン中、D1, D2エリアに1バンチずつのミュオンを取り出すことを可能にするために、Dラインを大幅に改造し、スイッチヤード、キッカー電磁石、セプタム電磁石の設置を行いました。コミッショニングの中で、D1, D2エリアに振り分けることができるることも確認しましたが、 μSR スペクトルにノイズがのっており、実際に使えるようになるには、まだしばらくのR&Dが必要です。

